

R I. 第2620地区 静岡第2分区 三島西ロータリークラブ

週報

第1925号

事 務 所 静岡県三島市中央町4番9号 2 F TEL 〈055〉 976-6351 FAX976-6352

例 会 場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島 TEL〈055〉 984-0120

会 長 野田 和秀 幹 事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

第1988回例会

2013.7.18曇

司会

澤村康子君

ロータリーソンク゛

「それでこそロータリー」 指揮 三田明宏君

会長挨拶

会長 野田和秀君

ゲスト・ビジターの方々、当クラブをご訪問下さり有難 うございます。早いもので、新年度がスタートして、1カ 月が過ぎようとしています。先週は、伊藤アシスタント・ ガバナーの訪問を受け、第2分区としての活動もはじま りました。来月はMIRAフェアーへの参加や献血活動等々、 外部での活動が続きます。暑い中大変ですが、よろしく お願いします。

さて、私事ですが、先週末富士宮駅の近くの「一番鶏」 という焼き鳥屋で会食する機会があり、30分程早く到着 したために、近くの浅間神社に立ち寄り、本殿まで足を 運び参拝してきました。富士宮には、今年初めに亡くな られた高崎PGの会社と取引があった関係で幾度となく 行っておったのですが、浅間神社には行ったことがなく 今回初めて参拝し、本殿の茅葺屋根や朱色を基調とした 佇まいといい、周辺の緑や湧水池(湧玉池)やそこから流 れる、参道と並行して流れる清流といい非常に心洗われ るひと時を得た気がしました。土曜日の夕刻で偶々だっ たのかわかりませんが、数人の外人グループを除いてほ とんど人影もなく、いつもは、三島大社の雑踏の雰囲気 が頭にあるものですから、特に印象深かったのかもしれ ません。水と緑の街、三島と言われますが、水量は富士宮 のほうが多そうですね。また緑の点では、三島大社の鳥 居の中には、売店などではなく100年後を考えて大木に なる木を植えたほうが、ヒモロギ(木々が発する雰囲気で、 言葉にならない感じるもの)において更に魅力が増し、 格も上がるのではないでしょうか。浅間神社の入り口の 鳥居のところに「富士山の世界文化遺産登録」を祝す垂 れ幕が掛っていましたが、これから観光客がきっと増え

てくるでしょう、それだけに環境保全が今まで以上に 大きな課題となってくることはまちがいないですね。 とにかく水と緑の有り難さを改めて感じさせられる一 日でした。

最後になりましたが、これから夏本番を迎えます、皆 様方どうか体調の管理に十分留意下さいますように。

"こんにちは、ようこそ"~

ゲスト 一之瀬良夫さん(椙山君のゲスト) ビジター 稲葉良弥君(三島RC)

出席報告

| | 出席総数 | 出 席 率 | メークア | 修 席 正率 |
|-----|-------|--------|-------|--------|
| 前々回 | 45/50 | 90.00% | 46/50 | 92.00% |
| 今 回 | 39/48 | 81.25% | 会員総数 | 54名 |

欠席者 石井(彰)君、石川君、大畑君、勝間田君、佐野君、 鈴木(正)君、登崎君、長田君、森崎君

幹事報告

幹事 平出利之君

- ①前期会費、全員から入金がありました。
- ②公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、三島 西RCからの寄付金累計額が、2000万円を達成した ので、地区大会で表彰するとの報告がありました。
- ③8月の例会変更 三島RC

8月14日 特別休会

8月21日→25日(日)に変更 夏の家族例会

2013~2014年度 国際ロータリー会長 ロン D.バートン

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を

おめでとう《

会員誕生日 遠藤(正)君、矢岸君、

勝間田君、平出君

奥様誕生日 古川君、野田君

結婚記念日 藤江君

ZTINIII DI

- ◆稲葉君(三島RC)前期ガバナー補佐時には大変お世 話になりました。今後ともよろしくお願い致します。
- ◆諏訪部(敏)君、先週19日に受章の祝賀会を開いてもらいました。本来ならば西ロータリーの皆さんに参加して戴きたかったのですが、会場の都合でパスト会長の皆さんに出席して戴きました。パスト会長の皆様ありがとうございました。
- ◆椙山君、お陰様にて入会1ヶ年が過ぎました。色々皆様にお世話になりました。今後とも宜しくお願い致します。
- ◆遠藤(正)君、バースデイプレゼントありがとうござい ます。朝一番で孫からお祝いメールが届きました。
- ◆Aテーブル、テーブル会を広小路の麒麟にて会長・幹事も出席をして頂き行いました。関本照文テーブルマスターより、歴代のパスト会長の貴重なお話を聞いて、有意義なテーブル会でした。

卓 話

食品製造と管理

椙山 豊君

生まれは沼津市内浦三津です。昭和21年1月の誕生で現 在67歳になりました。日本大学理工学部経営工学科機 械専攻に入り、戦後はじめての国産旅客機YS11開発の 木村秀正教授の航空研のゼミにはいりました。昭和38 年以前は不景気で就職難の時代が数年あり、一般工場 労働者の給与は8千円~1万円以下の時代でした。昭和 43年卒業時には、初任給は2万5千~3万円となり景気が 回復しはじめた時代です。蒲田で機械部品の図面引き のサラリーマンでしたが、事情があり26歳で結婚しこ ちらへ戻り現在の前身の会社に勤めました。昭和24年 創業の食品製造販売会社「有限会社椙山商会」であり、 長泉町竹原の飲料水・ジャム等の製造工場でした。昭 和54年、先代の義父より会社を閉じたいとの申し出が ありました。以前付き合いのあった会社の紹介で翌年5 月よりエバラ食品との調味料の委託製造の契約をし生 産を始めました。また、サッポロビールの果実飲料、 リボンシトロンやカナダドライ等の飲料生産にタッチ いたしました。平成6年社長に就任しました。平成9年 に15社の長泉町一色工業団地協同組合を設立して移転 しました。平成11年現在の㈱スギショーテクニカルフ ーズとなりました。2年前より、事業承継を息子であり ます専務に、また、取引先にもその旨を申し了解を得 ました。本年5月1日に息子を代表取締役社長に就任さ せました。また、会長職の引退時期も明確に伝えまし た。弊社は今65期の半ばです。企業の継続は社員に対 し、また、法人役員の義務と考えております。同じ状 態の継続はなかなか困難と思います。企業の寿命また は変化というのでしょうか、30年が大きな節目と感じ ております。

製造ライン





(週報担当: 西本和夫)